

# 芸術文化振興ビジョン改定の背景(1/2)

## 第2期ビジョン [ 現行ビジョン ] の概要

(参考)計画期間  
 第1期 2004(H16)～2015(H27)年頃の概ね10年間  
 第2期 2015(H27)～2020(H32)年頃の概ね6年間

### ビジョンの位置付け

「21世紀兵庫長期ビジョン」の趣旨や方向性を踏まえ、本県の芸術文化振興のための取組の展開方向を示す指針

### 計画期間

2015年～2020年(H27～32)頃の概ね6年間

### 基本目標

芸術文化立県ひょうご

～芸術文化が暮らしに息づき、芸術文化で人や地域を元気にする社会の実現～

### 基本方向

#### 1 芸術文化を創造・発信する

全国的・国際的に評価される優れた芸術文化の創造・発信拠点としての兵庫を確立するため、芸術文化活動を実践する層の拡大を図り、優秀な人材育成につなげる。また、芸術文化センター等の芸術文化施設がその機能を一層発揮するよう施設の活性化を図るとともに、コーディネーター等の専門人材を育成する。さらに、東京オリンピック・関西ワールドマスターズゲームズ等も視野に入れ、観光分野とも連携し、ICT等を活用した国内外への情報発信の強化に取り組む。

#### 2 芸術文化の“場”を育て広げる

芸術文化のすそ野を広げるため、空き施設等あらゆる場を活用し、県域文化団体や地域の芸術家の協力も得ながら、アウトリーチ活動を充実する。また、学校や地域と連携し、子どもたちが本物の芸術や伝統文化にふれる機会を提供する。さらに、拠点となる芸術文化施設の安全・安心で快適な施設づくりを進める。

#### 3 文化力を高め、地域づくりに活かす

県民や地域の持つ文化力を高めるため、県民が自分の住むまちが有する文化資源や伝統芸能等に関心を寄せ、誇りを持つ「ふるさと意識」を高め、兵庫の文化の継承・発展に取り組む。また、これらを活用し、ツーリズム振興等、観光分野との連携強化を図るなど、まちづくりや産業振興につなげる。

#### 4 みんなで支え、総合的に取り組む

県だけではなく、芸術家や芸術文化団体に加え、県民、企業、市町等幅広い主体の参画と協働により、県民全体で芸術文化を支え育てる。また、国や関西広域連合とも協調・連携を図り、県域を越えた取組も進める。

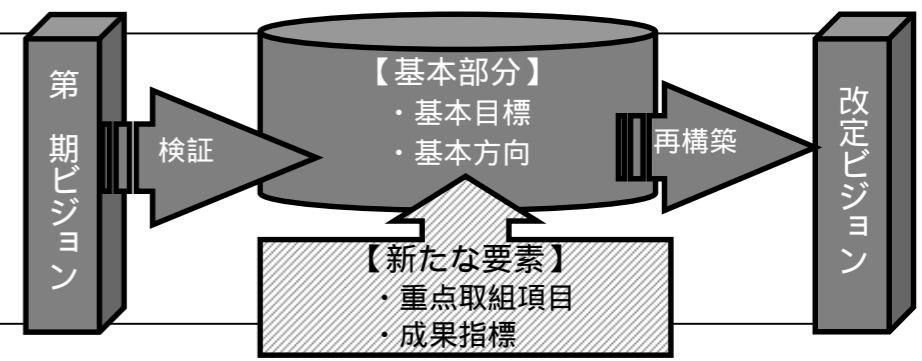
### 成果指標

(指標1)「住んでいる市・町で、芸術文化に接する機会があると思う人の割合」 H26:40.7% H32:50%  
 (指標2)「住んでいる地域で、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合」 H26:49.3% H32:60% 「兵庫のゆたかさ指標」より

## ビジョンの構成

【基本部分】  
 基本的な考え方、基本目標、基本方向は維持し、引き続き取り組む。

【新たな要素】  
 今後6年間の重点取組項目、成果指標による効果測定を新たに導入し、実効性を確保する。



## 重点取組項目

重点取組項目の設定

### 【重点1】

県民誰もが身近に芸術文化に親しむ環境の充実

芸術家等が地域へ出向くアウトリーチ活動の推進  
 若手芸術家の発掘・育成  
 県民の芸術文化活動への支援  
 あらゆる場の活用の促進  
 青少年が本物の芸術文化に親しむ機会の充実  
 学校教育との連携の推進  
 親への啓発や親子交流の促進  
 芸術家を支え育てる目を持つ観客の育成

### 【重点2】

「ふるさと意識」に根ざした兵庫の文化の継承・発展

伝統文化や伝統芸能等の継承・発展  
 芸術文化を通じた世代間交流の仕掛けづくり  
 学校や家庭、地域での芸術文化教育の充実  
 地域文化の発掘・保存・活用  
 文化財等地域の文化資源の活用支援  
 地域の文化力等を活用したまちづくりの推進

### 【重点3】

兵庫の分厚い文化力の国内外への積極的な情報発信

ICT等を活用した多彩な芸術文化情報の発信等  
 芸術文化施設のネットワークの拡充による集客強化等、観光分野と連携した情報発信の展開  
 東京オリンピック等の機会を捉え、本県の文化力を活かした国際的な芸術文化事業を展開  
 国、関西広域連合、市町、団体、企業等との連携体制の確立

### 【重点4】

芸術文化施設の適切な維持・保全と活性化の推進

適切なメンテナンスによる安全・安心で快適な施設づくり  
 県内外の施設とのネットワークの拡充による利活用の促進  
 施設の効率的な運用と活性化の推進  
 施設運営への住民参画の促進

# 芸術文化振興ビジョン改定の背景(2/2)

## 第2期ビジョン策定以降の動き

### 本県の芸術文化施策の進展(主なもの)

- 拠点施設の大規模改修工事等
  - H27～28 県立美術館王子分館耐震補強・大規模改修工事
  - H28 芸術文化センター大規模改修工事
  - R1～2 ピッコロシアター大規模改修工事
  - R2 県立美術館西宮分館開館
  - R3 国際芸術観光専門職大学(仮称)開学予定
- 新たな事業展開
  - 県民誰もが身近に芸術文化に親しむ環境の充実
  - 芸術家育成プロジェクト「アーティスト・リソース」の開催(R1～)
  - 小学校・特別支援学校を対象にしたPAC小規模アウトリーチ事業の実施(H29～)
  - 「ふるさと意識」に根ざした兵庫の文化の継承・発展
  - 子ども伝統文化わくわく体験教室(H27～)
  - 兵庫の分厚い文化力の国内外への積極的な情報発信
  - ひょうごの文化発信リーディング事業(R1～)
  - 芸術文化施設の適切な維持・保全と活性化の推進
  - 市町ホール活用支援事業(R2～)

### 時代潮流の変化(兵庫2030年の展望より)

- 進行する人口減少と少子高齢化
  - 人口減少・少子高齢化の進行
  - 都市部でも人口減少局面に移行
  - 人口の偏在化
  - 介護需要の増加
- 浸透する革新技術
  - 革新技術の浸透(AI・IoT・ロボット)
  - 先端産業の成長
- 多様化する働き方
  - 働き方の多様化
  - ワーク・ライフ・バランスの進展
- 到来する大交流社会
  - 世界人口・外国人旅行者・留学生の増加
  - 世界の貨物量の増加
  - 情報共有のグローバル化
  - 都市農村の環流の拡大
  - 陸海空の交通インフラの充実
- 高まる災害リスクと持続可能な環境づくり
  - 南海トラフ地震
  - 多発する豪雨
  - パリ協定の発効
  - 水素社会の到来

### 新型コロナウイルス感染症への対応

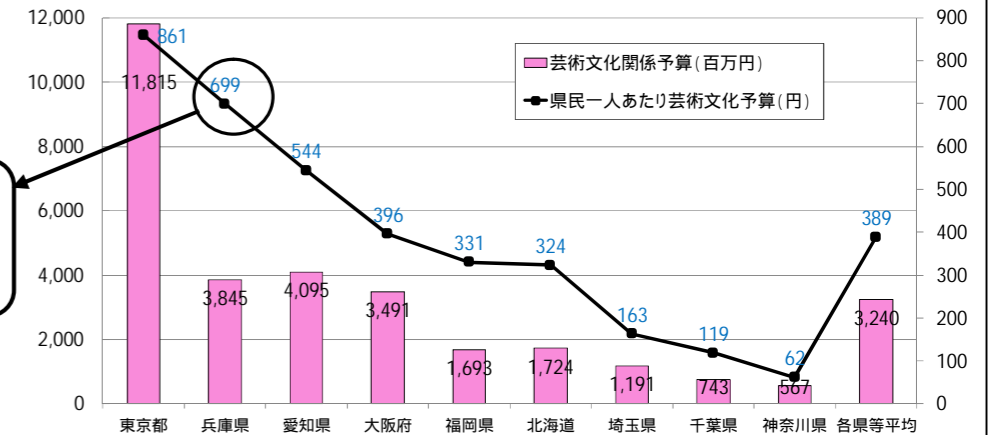
- [ 芸術文化活動への影響と県が講じた対策 ]
- 芸術文化活動への影響
    - 発表機会やお稽古・レッスン等の減少・喪失
    - 公演や展示会の休止・中止
    - 再開に向けた感染症防止対策
  - 県が講じた主な対策
    - 各種動画配信事業の実施
    - 新進アーティスト等発表の場の提供
    - ロビーコンサート・県内芸術家リサイトの追加実施
    - 感染症対策費用の支援事業
    - 県域文化団体感染症対策支援事業
    - 県立施設における会場キャンセル料の一部免除
    - 公演再開に向けた支援
    - 芸術文化公演再開緊急支援事業(利用料金1/2減免)
    - 各芸術文化施設の取組
    - 感染症対策の資機材整備、SNSを活用した動画配信等

### ポストコロナ社会への対応

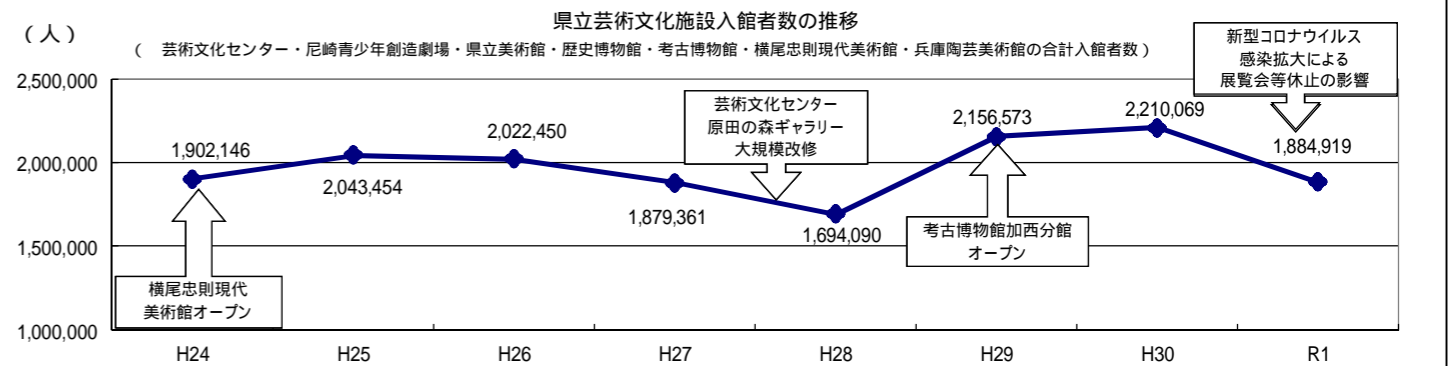
- [ 提言「ポストコロナ社会に向けて」より 芸術文化関係の提言(R2.7) ]
- 提言1 パンデミック時代の危機管理
  - 提言2 デジタル革新の加速
    - オンライン芸術鑑賞
    - 生の舞台への客足減少が懸念されたが、本物を見たい人が増える効果が判明。一方で、本物の価値(価格)が上がり、誰もが気軽にリアルな芸術に触れられなくなる懸念もあり、文化政策の充実が必要。
  - 提言3 産業の競争力・リスク耐性の強化
  - 提言4 分散型社会への転換
    - 芸術文化拠点の分散
    - 東京一極集中のなか、地域に芸術拠点や創造集団があるという多様性、重層性の確保が重要。国際観光芸術専門職大学(仮称)の創設は一地方の小都市に創造拠点を築く試みとして注目に値する。
  - 提言5 社会の絆の再生

## 芸術文化に関する主要データ

- 芸術文化予算(他府県比較)
  - (文化施設建設費・文化財保護経費除く)
  - 〔資料〕文化庁「地方における文化行政の状況について」(平成29年度決算)



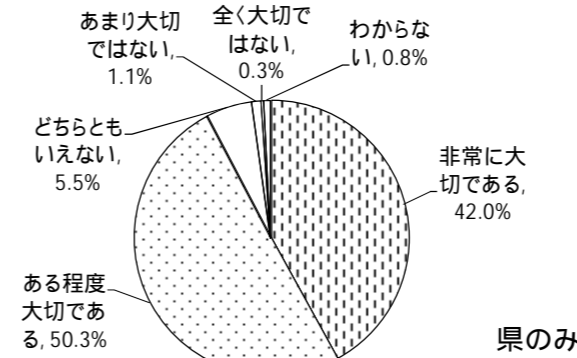
- 芸術文化関係施設



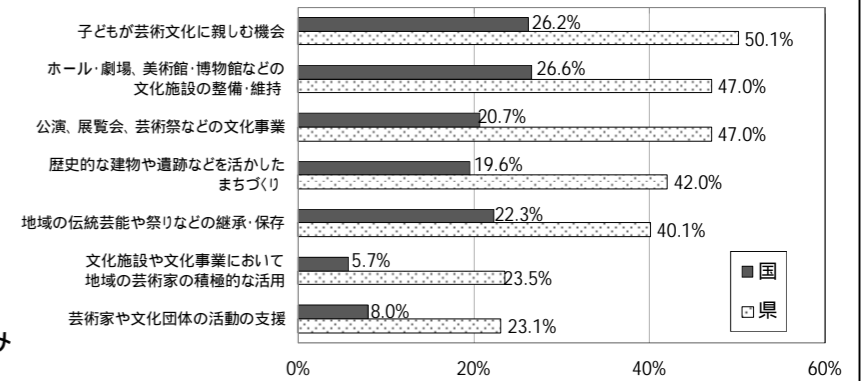
- 兵庫県民の芸術文化に対する意識

〔国:「文化に関する世論調査」(令和2年3月)(文化庁)  
県:「県民モニター第3回アンケート調査」(令和元年11月)の比較〕

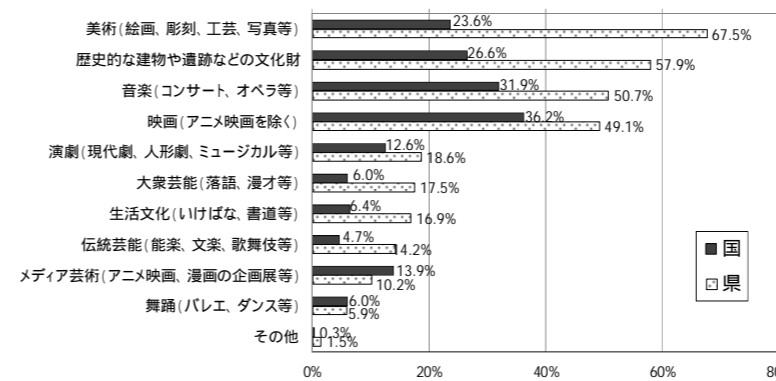
### 日常生活における文化芸術の体験・活動の重要性



### 地域の文化的環境を充実させるために必要なもの



### この1年間に鑑賞した芸術文化



### この1年間に自ら行った芸術文化活動

